

この地球には、9つのタイプの人がいます。

生まれた日で、どのタイプかが決まっています。

あなたは、どのタイプだと思いますか？

これは、雷タイプのぴかりの良いところに出逢えるお話です。



⑥天タイプ
おおぞら 大空のように心が広く、
たの 頼もしい テン



⑨火タイプ
たいよう 太陽のように情熱的で、
すみび 炭火のように人を癒やす サニー



⑧山タイプ
やま 山のように雄大で、
ダイナミックな やまたん



②谷タイプ
だいち 大地のように大きな愛で、
みんなを育む タニー



③^{かみなり}雷タイプ

雷のようにひらめいて、
^{ゆうき}勇気のある ぴかり



⑤^{ちきゅう}地球タイプ

地球のようにみんなを^い生かし、
^ひ惹きつける ガイア



⑦^{さわ}澤タイプ

オアシスのように^{ひと}人を癒やし、
^{たの}みんなを楽しませる いずみん



④^{かぜ}風タイプ

風のように^{さわ}爽やかで、
^{ひと}^{たす}人を助ける ふーりん



①^{みず}水タイプ

水のように^{じゅうなん}柔軟で、
^{やさ}^{おお}優しく大らかな すいちゃん

* 次のページの「^{つぎ}タイプ早見表」を見れば、^{はやみひょう}自分がどのタイプかわかりますよ。

あなたは、何タイプ？ 九性気學タイプ早見表^{はやみひょう}

1月1日から^{せつぶん}節分※までの^う生まれの人は、^{ひと}前年のタイプが^{ぜんねん}適用^{てきよう}されます。 ※節分は、2月3日。ただし、★の年は2月4日。

①水タイプ 一白水性

昭和2年★ 昭和56年
昭和11年★ 平成2年
昭和20年 平成11年
昭和29年 平成20年
昭和38年 平成29年
昭和47年★



②谷タイプ 二黒土性

昭和元年 昭和55年★
昭和10年★ 平成元年
昭和19年★ 平成10年
昭和28年 平成19年
昭和37年 平成28年
昭和46年



③雷タイプ 三碧木性

昭和9年 昭和54年
昭和18年★ 昭和63年
昭和27年★ 平成9年
昭和36年 平成18年
昭和45年 平成27年



④風タイプ 四緑木性

昭和8年 昭和53年
昭和17年 昭和62年
昭和26年★ 平成8年
昭和35年★ 平成17年
昭和44年 平成26年



⑤地球タイプ 五黄土性

昭和7年★ 昭和52年
昭和16年 昭和61年
昭和25年 平成7年
昭和34年 平成16年
昭和43年★ 平成25年
令和4年



⑥天タイプ 六白金性

昭和6年★ 昭和51年★
昭和15年★ 昭和60年
昭和24年 平成6年
昭和33年 平成15年
昭和42年 平成24年
令和3年



⑦澤タイプ 七赤金性

昭和5年 昭和50年
昭和14年★ 昭和59年★
昭和23年★ 平成5年
昭和32年 平成14年
昭和41年 平成23年
令和2年



⑧山タイプ 八白土性

昭和4年 昭和58年
昭和13年 平成4年
昭和22年★ 平成13年
昭和31年★ 平成22年
昭和40年 平成31年
昭和49年 令和元年



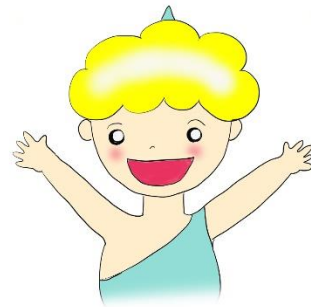
⑨火タイプ 九紫火性

昭和3年★ 昭和48年
昭和12年 昭和57年
昭和21年 平成3年
昭和30年 平成12年
昭和39年★ 平成21年
平成30年



かみなり
雷タイプのあなたへ

これは、あなたの物語です。
あなたの^{さいのう}才能や^い良いところが、いっぱい書かれています。
「ぴかり」の^{じぶん}ところを、自分の^{なまえ}名前に^お置き^か換えて^よ読んでみてね。



ぴかり



くん



ちゃん

だれ ^{てんさい} 誰もが天才！ ^{さいのう} こどもの才能がわかる ^{きゅうせい きがく えほん} 九性気學絵本

^{さんぺきもくせい} 三碧木性 ^{かみなり} 雷タイプ

ひかりの宝物 ^{たからもの}

ぶん ^{てんし} 文 えほんの天使
え ^{しょうじ} 絵 勝治 ^{まゆこ} 麻由子



ここは、雲の上。
雷の子、ぴかりが帰ってきました。

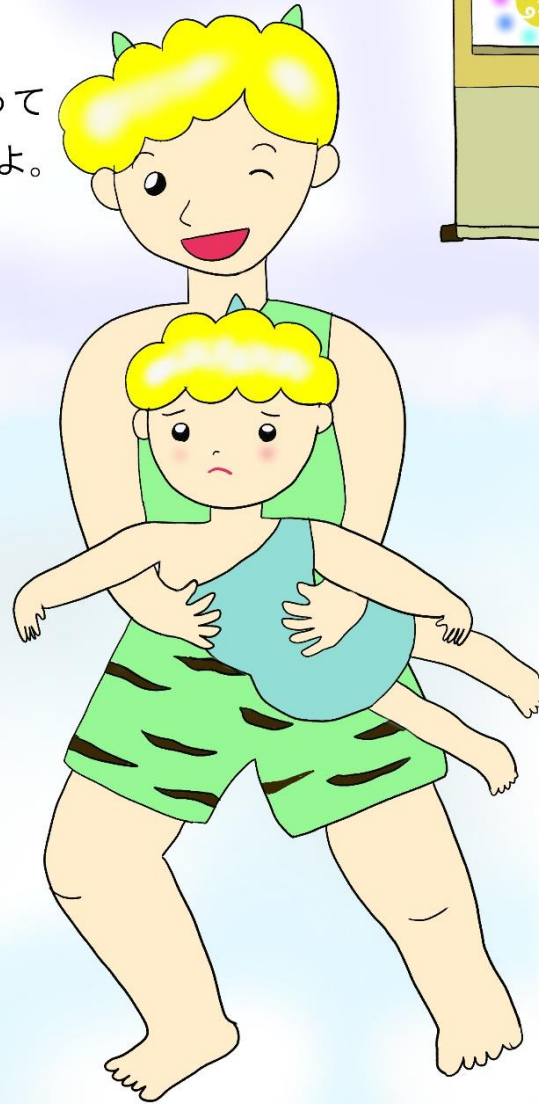
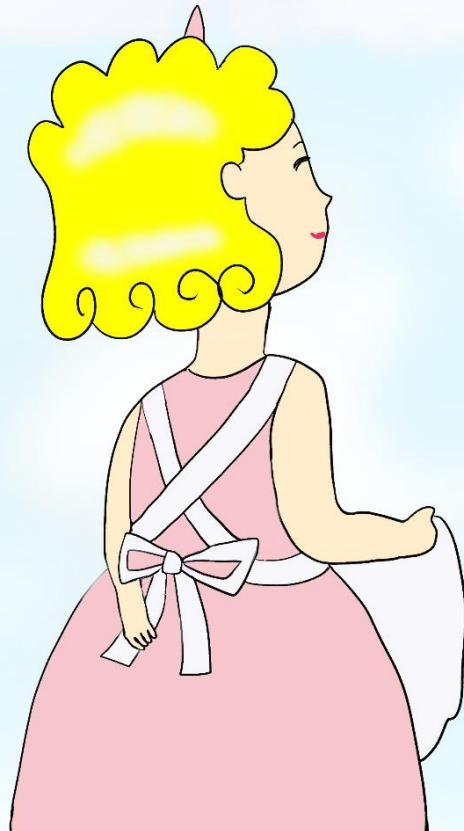
「もう嫌になっちゃった。」

「どうしたの？　ぴかり。」

お母さんが優しく声をかけました。

「ごろたんにさ、雷の作り方が違うよって
教えてあげたのに、泣いちゃったんだよ。

それで先生に怒られたの。」



そう言うと、ぴかりはごろんと寝転びました。

「あーあ、何もしたくない。」

お父さんは、ぴかりをひよいと抱きかかえると、
お母さんに目配せして言いました。

「どうした、どうした。それっ、

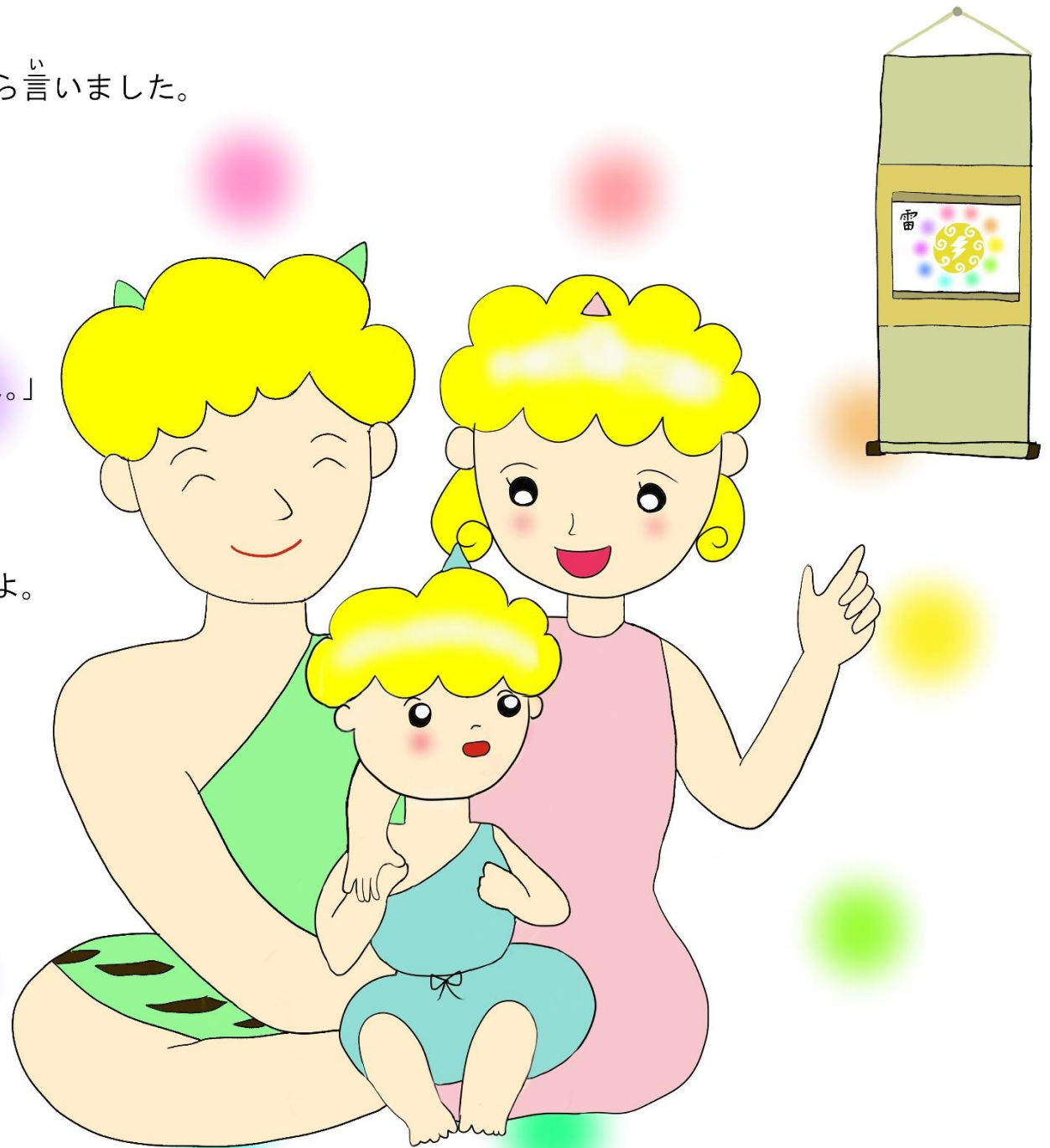
お母さんのところまでひとつ飛びだ〜！」

お父さんは、ぴかりをお母さんの膝にトンと
座らせました。

お母さんは、ぴかりの話をじっくり聴いてから言いました。
「それで嫌な気持ちになったのね。」

お母さんは、しばらくの間、
ぴかりをぎゅっと抱きしめていました。

「嫌なことがあったら、あれを見るといいわよ。」
お母さんは、掛け軸を指さして言いました。
「ぴかりは、10個の宝物を持っているの。
宝物ってね、あなたの才能や良いところよ。
それを使うと、良いことがいっぱい起きるのよ。
今日は、そのお話をしましょうね。」



ひとめ たらもの ゆうき き
「一つ目の宝物は、勇気とやる気があるところよ。」

あたかもくひょう み ちようせん
新しい目標を見つけて、どんどん挑戦できる。それが、あなたの良いところ。」

「勇気？ おいら、あるかな・・・。」

ぴかりは、くびをかしげました。

かあ あたま やさ
お母さんがぴかりの頭を優しくなでて言いました。

「もともと、もっているのよ。」

おも だいじょうぶ し かがや はじ
できていないと思っても、大丈夫。知ることによって宝物は輝き始めるのだから。」

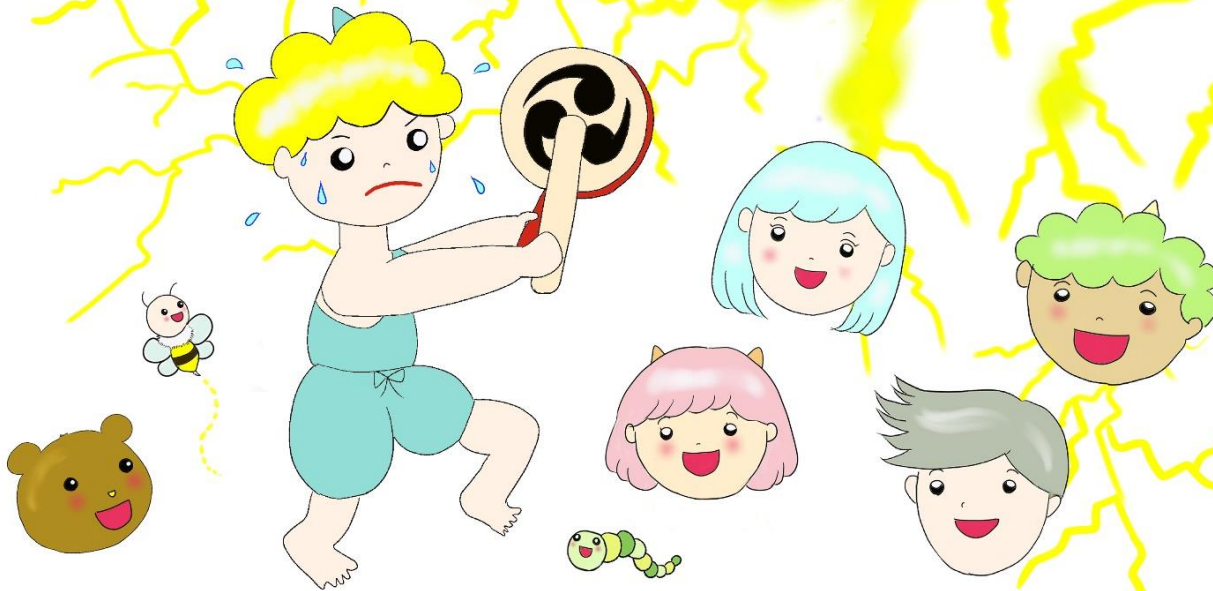




ふため たからもの
「二つ目の宝物は、まじめで
とっても頑張り屋さんなところ。
ぜったい がんば や
絶対にできるって、信じているでしょう。」

そんなぴかりを、みんなはすごいって
かんしん
感心しているのよ。」
ぴかりは、りっぱ かみなり つく
立派な雷を作ろうと、
まいにち けんきゅう かさ れんしゅう
毎日のように研究を重ね、練習しています。
よ いね せいちょう たす き
良い雷は、稲の成長を助けると聞いたのです。
「みんなも、そんなぴかりを見ていると、
がんばろうっておもえるのよね。」

「おいらならやれる！」



「三つ目の宝物は、ひらめきの天才であるところ。
みんなを喜ばせようと、いつも良いアイデアで頭がいっぱいよね。
どれもこれも、ぴかりだからこそ思い付ける、素敵なアイデアばかりなのよね！」

「そうだ、良いこと、ひらめいた！」

